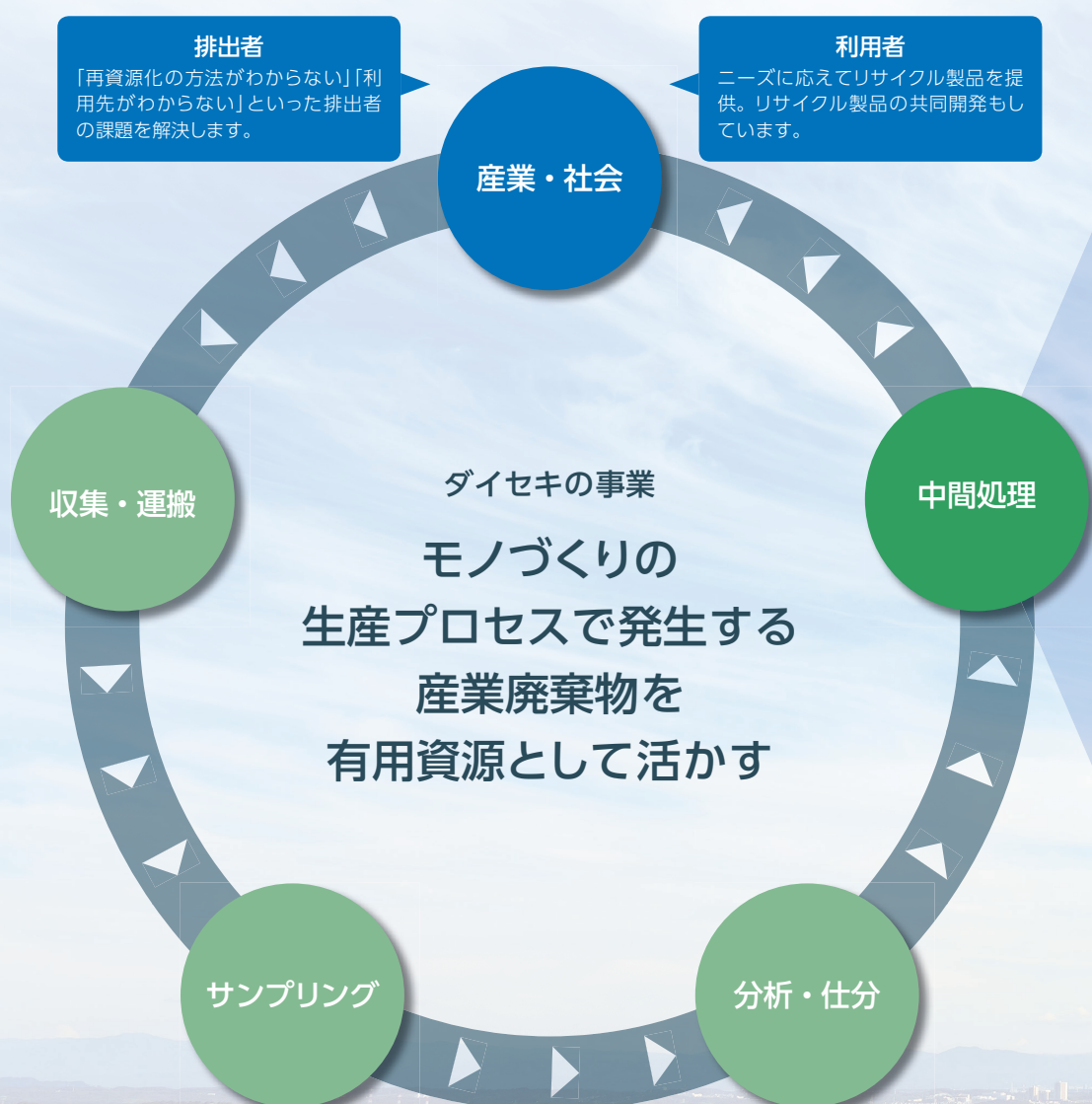


廃棄物を資源と考えて、 循環型社会の構築に貢献します



ダイセキのリサイクル率
(2022年度)

87.1%

ダイセキのリサイクル処理入荷量
(2022年度)

107.0万t

(注)リサイクル率の定義及びリサイクル処理入荷量の内訳については、P28を参照

多様な技術を組み合わせることで可能な限り廃棄物を資源化

廃油

劣化した潤滑油の再生、水分や混入物を除去し精製した再生重油の製造、利用者の希望に合わせて成分を調整した補助燃料(石炭代替燃料)の製造を行っています。



油を含む液状のもの

処理・リサイクル工程



廃油処理(振動ふるい機)



廃油処理(遠心分離機)



再生燃料

廃液

燃料化できる油分を分離し、廃酸・廃アルカリは中和処理後、活性汚泥処理で浄化。国や自治体の水質基準に適合していることを確認して、河川・下水道に放流しています。有用な金属の回収も行っています。



液状で、pHが7未満の廃酸と、7以上の廃アルカリ

処理・リサイクル工程



活性汚泥処理施設



金属回収装置



有用金属等

汚泥

脱水、乾燥、混練(薬剤と混合)等の処理をして、セメント原料にリサイクルしています。リサイクルできない汚泥は可能な限り減量し、外部に委託して埋立処分しています。



泥状の廃棄物

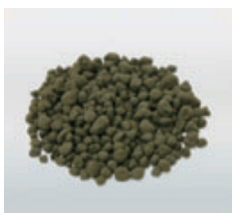
処理・リサイクル工程



脱水装置



乾燥装置



セメント原料

(注)再生燃料とは再生重油及び補助燃料のことを指す